

# 武雄流 流鏑馬



に、武雄が沸く一日だ。め尽くす見物客の歓声

馬の疾走音と参道を埋塵を巻き上げ走る

脈々と受け継がれてきた伝統行事だが、数年前までは奉納の外部委託を余儀なくされていた。しかし「やっぱり武雄のお祭りやけん」と声があがり、再び自分たちで馬を飼って奉納するようになった。今年3人の中学生が、地域の思いと2029年の伝統を背負い、舞台へと立つ。

## この一本に地域の思いと伝統をのせて

くん。小学3年生の頃、馬場を一直線に駆ける「白鷺の舞」を演技、その後部活の柔道に打ち込み、今年流鏑馬の舞台に戻ってきた。「久しぶりに馬に乗り、挑戦したくなった。まずは一本でも当てたい」。初めて弓を持ち、奉射に挑戦する。

北方中3年の岩瀬葉月さんは今年で3度目の奉射。葉月さんの口から出るのは、伝統を守り伝えてきた地域の方々への感謝の言葉だ。「草むしりやゴミ拾い、手作りの的に出陣式の丸いおにぎり。皆さんが舞台を用意してくれるから、感謝の気持ちでせんばいかんと思う」。地域の思いをしっかりと胸に、3本連続の命中を目指す。

先輩たちに憧れ、今年初めて馬に乗る子も出てきた。武雄中1年の野田夕楓さんは昨秋乗馬体験で初めて馬に乗り、その可愛さと楽しさに夢中になった。「先輩たちのようにかっこよく奉納できるよう頑張りたい」。

小さな体で馬場を駆ける3人の挑戦が、武雄人の心を未来へとつないでいく。

### 武雄供日の流鏑馬行事

1186年、平家討伐を果たした源頼朝が武雄神社に戦勝の報告として使者を赴かせた際、武雄領主の後藤家が奉納したことが始まりとされる。

宵のまつり(エイトウ)

10月22日(木) 18時

甘久〜武雄神社〜甘久(朝日町甘久区・武雄町武雄区)

流鏑馬

10月23日(金) 10時40分〜(奉射14時〜予定)

八並〜武雄神社〜八並(武雄町八並区・武雄区)

### 黒髪神社の流鏑馬神事

85周年

1165年、黒髪山の大神退治祈願成就のため奉納したことが始まりとされる。例年山内西小学校の生徒による子ども流鏑馬も奉納。

10月29日(木) 13時〜(奉射14時30分頃〜予定)

黒髪神社(山内町宮野区)



武雄中学校3年生 古場 哉平くん



北方中学校3年生 岩瀬 葉月さん



武雄中学校1年生 野田 夕楓さん



黒髪神社